

2023年1月～6月

上期総合索引

No.3587～3610

経財ニュース・ミニファイル・読切解説

タイトル

掲載号

会計

※MFはミニファイルの略、並びは五十音順

| | |
|--|------------|
| 2022年3月期における収益認識会計基準の適用の影響の分析 <small>読切解説</small> | 3591(2/6) |
| 公認会計士 山田 善隆 | |
| JICPAの実務指針等を移管へ (ASBJ) | 3605(5/22) |
| LIBORに関する特例の注記 MF | 3595(3/6) |
| 新しい資本主義の実行計画を閣議決定 | 3610(6/26) |
| 改正「法人税等会計基準」等、2つの改正点は同時に適用 (ASBJ) | 3597(3/20) |
| 改正リース会計基準等の公開草案を公表議決 (ASBJ) | 3603(5/8) |
| 過去の継続企業の会計基準開発 MF | 3609(6/19) |
| 企業会計審 IFRS対応の方向性を議論へ (金融庁) | 3601(4/17) |
| 企業会計審 会計部会でIFRSの「当面の方針」の取扱い検討 (金融庁) | 3608(6/12) |
| 金利上昇が日本基準適用会社の3月期決算にも影響 | 3601(4/17) |
| 金利上昇とのれん減損の基準間差異 MF | 3602(4/24) |
| グローバル・ミニマム課税対応で税効果会計の特例案を公表 (ASBJ) | 3592(2/13) |
| グローバル・ミニマム課税対応で税効果会計の特例を設定へ (ASBJ) | 3589(1/23) |
| グローバル・ミニマム課税と税効果 MF | 3588(1/16) |
| グローバル・ミニマム課税に関する税効果会計の特例を決定 (ASBJ) | 3598(3/27) |
| グローバル・ミニマム課税の実務対応報告を公表 (ASBJ) | 3600(4/10) |
| グローバル・ミニマム課税の税効果会計の特例案へのコメント対応 (ASBJ) | 3596(3/13) |
| 後発事象の会計基準開発 MF | 3608(6/12) |
| 市場価格のない株式等の取扱い MF | 3597(3/20) |
| 実務対応報告第44号「グローバル・ミニマム課税に対応する法人税法の改正に係る税効果会計の適用に関する当面の取扱い」の概要 <small>読切解説</small> | 3604(5/15) |

企業会計基準委員会 専門研究員 加藤 絢司

| | |
|---------------------------------|------------|
| 四半期報告書制度の見直しに対応 (ASBJ) | 3607(6/5) |
| 収益認識の本人・代理人の判定 MF | 3601(4/17) |
| 賃上げと退職給付 MF | 3603(5/8) |
| 電子決済手段の実務対応報告案を公表 (ASBJ) | 3608(6/12) |
| 投資信託の時価、改正適用指針の早期適用事例を調査 | 3598(3/27) |
| 投資信託の時価算定 MF | 3593(2/20) |
| のれんの償却費累計額と子会社の減損の影響 MF | 3604(5/15) |
| パーシャルスピノフ、実施会社の会計処理を優先か (ASBJ) | 3602(4/24) |
| パーシャルスピノフの会計処理、開発の方向性固まる (ASBJ) | 3609(6/19) |
| パーシャルスピノフの会計処理を検討へ (FASF) | 3595(3/6) |
| リース会計基準等の公開草案を公表 (ASBJ) | 3604(5/15) |

開示

| | |
|---|------------|
| 12月期有報、サステナビリティ記載欄の早期適用事例 | 3601(4/17) |
| 2022年のM&A件数、前年を大きく上回る949件 | 3595(3/6) |
| 2023年3月期決算発表、平均所要日数は40.2日 (東証) | 3609(6/19) |
| 23年3月期有報から「サステナビリティ情報」の記載が必須に (金融庁) | 3591(2/6) |
| DWG報告から読み解く四半期開示①～一本化後の四半期短信にセグメントやCF情報等を追加へ (金融庁) | 3590(1/30) |
| DWG報告から読み解く四半期開示②～四半期レビューを任意化、不正時は義務付け (金融庁) | 3592(2/13) |
| DWG報告から読み解く四半期開示③～四半期「任意化」は検討継続 (金融庁) | 3593(2/20) |
| DWG報告を公表～四半期一本化への具体策を提言 (金融庁) | 3588(1/16) |
| HPにサステナビリティ開示の特集ページを開設 (金融庁) | 3604(5/15) |
| PBR 1倍割れ企業に開示要請、プライムは英文開示義務化 (東証) | 3591(2/6) |
| PBR 1倍割れ企業に開示要請の見込み (東証) | 3589(1/23) |
| PBRと改善計画の開示 MF | 3590(1/30) |
| SASB改訂方法論へのコメント案を提示 (SSBJ) | 3608(6/12) |
| SSBJ基準の開発予定などを共有 (FASF) | 3597(3/20) |
| TCFD開示 4社に1社は推奨11項目を全て開示 (JPX) | 3591(2/6) |
| 運用機関が挙げるESG課題、気候変動等が上位 (GPIF) | 3597(3/20) |
| 親子上場等の少数株主保護に向け研究会を再開 (東証) | 3589(1/23) |
| 会計基準の名称と財務諸表の閲覧方法を開示提案 (SSBJ) | 3596(3/13) |
| 外国会社の財務書類の作成基準等を明確化へ (金融庁) | 3605(5/22) |
| 開示基準 「人権も重視すべき」との声も (自民党) | 3598(3/27) |
| 改正「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の公表に伴う連結財務諸表規則等の改正について 読切解説 | 3604(5/15) |
| 金融庁 企画市場局 企業開示課 課長補佐 椿 真典/専門官 七海 健太郎/係長 夏間 智史 | |
| 改正「法人税等会計基準」対応で連結財規等を改正・公布 (金融庁) | 3599(4/3) |
| 改正「法人税等会計基準」等に対応へ (金融庁) | 3588(1/16) |

| | |
|---|------------|
| 改正開示府令、コーポレートガバナンスに関する開示のポイント（金融庁） | 3595(3/6) |
| 改正開示府令、サステナビリティ情報の開示のポイント（金融庁） | 3594(2/27) |
| 改正開示府令、多様性指標の開示のポイント（金融庁） | 3593(2/20) |
| 改正開示府令等に対応したタクソノミ示す（金融庁） | 3594(2/27) |
| 改正開示府令踏まえ、サステナ開示の参考事例を紹介（金融庁） | 3592(2/13) |
| 監査人交代の適時開示、「登録状況」の記載ミスに注意 | 3609(6/19) |
| 「監査の状況」記載の程度 MF | 3601(4/17) |
| 監査役・監査役会の活動状況 MF | 3596(3/13) |
| 企業会計審 内部統制基準・実施基準を改訂（金融庁） | 3601(4/17) |
| 企業内容等の開示に関する内閣府令等の改正、記述情報の開示の好事例集2022 （サステナビリティ情報等に関する開示）の紹介 読切解説 | 3597(3/20) |
| 金融庁 企画市場局 企業開示課 開示企画調整官 上利 悟史／専門官 河西 和佳子／ 課長補佐 鹿子木 慎亮／専門官 清野 恭平 | |
| 金商法改正後の半期開示 MF | 3598(3/27) |
| 金商法改正法案が衆議院通過、四半期一本化後の開示内容など質疑 | 3609(6/19) |
| 金商法改正法案、成立見送り～四半期報廃止スケジュールは現時点で変更なし | 3610(6/26) |
| 厚労省DBで女性管理職比率等の公表事例を確認（厚労省） | 3597(3/20) |
| コーポレートガバナンスに関する具体的な記載事例を示す（金融庁） | 3599(4/3) |
| サステナ開示初年度 模索続く | 3606(5/29) |
| サステナ情報記載に必要な準備とは | 3601(4/17) |
| サステナビリティ開示の後発事象を議論（SSBJ） | 3601(4/17) |
| サステナビリティ開示をテーマに金融庁担当官が講演（税務研究会・企業懇話会） | 3598(3/27) |
| サステナビリティ記載欄、他の記載への参照の留意点 | 3603(5/8) |
| 四半期開示の見直しに関する実務検討会を設置（東証） | 3608(6/12) |
| 四半期開示の見直しの概要と今後の法令・基準等改正の課題—「ディスクロージャー ワーキング・グループ報告」の概要と今後の課題— 読切解説 | 3589(1/23) |
| 同志社大学商学部・商学研究科 客員教授／元パナソニック株式会社 理事 山田 浩史 四半期報告書廃止へ、金商法改正法案を国会に提出（政府） | 3597(3/20) |
| 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の要請等について 読切解説 | 3602(4/24) |
| 東京証券取引所 上場部企画グループ統括課長 池田 直隆 | |
| 修正後のIAS第12号「法人所得税」を指定国際会計基準に（金融庁） | 3608(6/12) |
| 少数株主保護へ持分法適用関係の上場会社に開示要請も（東証） | 3599(4/3) |
| 新春特別寄稿 上場制度を巡る2022年の回顧と2023年の展望 読切解説 | 3590(1/30) |
| 東京証券取引所 上場部長 菊池 教之 | |
| 新春特別寄稿 ディスクロージャー・企業会計を巡る最近の動向 読切解説 | 3587(1/9) |
| 金融庁 企画市場局 企業開示課長 廣川 斉 | |
| 政策保有株式の保有目的の開示 | 3607(6/5) |
| 生物多様性やサイバーセキュリティ等の開示例 | 3605(5/22) |
| セグメント情報等の注記と有報レビュー MF | 3605(5/22) |
| 他の公表書類の参照 MF | 3598(3/27) |
| 男女間の賃金差異の開示義務 MF | 3600(4/10) |

| | |
|---|------------|
| 「男女の賃金の差異」の開示、説明欄の活用事例（厚労省） | 3590(1/30) |
| 通算税効果額を授受しない旨の開示 | 3609(6/19) |
| 電子決済手段の表示 MF | 3610(6/26) |
| 日本版S1、S2基準の開発計画を公表（SSBJ） | 3592(2/13) |
| 日本版S1基準の開発を開始（SSBJ） | 3592(2/13) |
| プライム・スタンダード全社にPBRの改善計画等を要請へ（東証） | 3594(2/27) |
| プライム・スタンダードにPBR等の改善計画を要請（東証） | 3600(4/10) |
| プライム市場の英文開示実施率は97.1%に増加（東証） | 3591(2/6) |
| 法令により開示省略、基準への準拠表明が可能と提案（SSBJ） | 3598(3/27) |
| 見積りの開示対象は議論継続（SSBJ） | 3604(5/15) |
| 有価証券報告書 作成上の留意点（2023年3月期提出用） 読切解説 | 3602(4/24) |
| 公益財団法人 財務会計基準機構 桐島 雄太／曾根 由香里 | |
| 有価証券報告書等におけるサステナビリティ情報等の開示 読切解説 | 3596(3/13) |
| EY新日本有限責任監査法人 前田 和哉 | |
| 有価証券報告書における「サステナビリティに関する考え方及び取組」の開示 ～2022年12月決算会社による先行的開示の分析と開示例 読切解説 | 3606(5/29) |
| 公認会計士 山田 善隆 | |
| 有価証券報告書に追加される「サステナビリティに関する考え方及び取組」に対するXBRLタグ付けについて 読切解説 | 3607(6/5) |
| 有限責任 あずさ監査法人 篠井 大祐 | |
| 有報提出前に確認、新設項目等のタグ付け（金融庁） | 3604(5/15) |
| 有報レビュー、サステナビリティ開示の記載内容を審査（金融庁） | 3599(4/3) |
| 令和4年公認会計士法改正に伴う政令・内閣府令の改正 読切解説 | |
| 金融庁 企画市場局 企業開示課 課長補佐 鳥屋尾 大介／ 金融庁 企画市場局 企業開示課 係長 尾崎 祐二 | 3594(2/27) |

監査

| | |
|-------------------------------------|------------|
| 2022年の監査人交代 大手・準大手→中小が50%超 | 3604(5/15) |
| 2年目KAMの事例集を公表（金融庁） | 3594(2/27) |
| KAM好事例を公表（日本証券アナリスト協会） | 3593(2/20) |
| 売上高以外の指標等による重要な事業拠点選定の参考例を追加（JICPA） | 3603(5/8) |
| 会計監査の質・量の向上を議論（自民党） | 3608(6/12) |
| 会計士の能力育成について議論（自民党） | 3610(6/26) |
| 会計士資格の誤表記問題を調査（JICPA） | 3588(1/16) |
| 開示府令改正、参照先の情報は通読対象外（JICPA） | 3602(4/24) |
| 開示府令改正に伴う「その他の記載内容」の通読範囲 MF | 3599(4/3) |
| 改正公認会計士法等に係る政府令が公布（政府） | 3591(2/6) |
| 学会名称変更記念公開シンポジウムを開催（日本ガバナンス研究学会） | 3595(3/6) |
| 監査時間と報酬の傾向 MF | 3596(3/13) |
| 監査事務所に実効的な組織運営を要請（JICPA） | 3600(4/10) |

| | |
|--|------------|
| 「監査上の主要な検討事項（KAM）」の情報価値 <small>読切解説</small> | 3598(3/27) |
| 関西大学大学院 教授 松本 祥尚／青山学院大学大学院 教授 町田 祥弘 | |
| 監査調書の適切な作成・保存を注意喚起（JICPA） | 3598(3/27) |
| 監査人の交代理由 新たな視点等への期待が増加 | 3605(5/22) |
| 監査報告書に報酬関連事項の記載を追加へ（金融庁） | 3587(1/9) |
| 監査法人のガバナンス・コード案を公表（金融庁） | 3587(1/9) |
| 「監査法人のガバナンス・コード」を改訂（金融庁） | 3599(4/3) |
| 監査法人の組織的な運営に関する原則（監査法人のガバナンス・コード）の改訂 <small>読切解説</small> | |
| 金融庁 企画市場局 企業開示課 課長補佐 小作 恵右／ 課長補佐 松井 都志子／係長 山本 実和 | 3604(5/15) |
| 監査法人への検査結果に基づく勧告（CPAAOB） | 3599(4/3) |
| 監査法人を巡り行政処分等の勧告（CPAAOB） | 3590(1/30) |
| 監査役監査実施要領を改定、総会資料電子提供等に対応（監査役協会） | 3606(5/29) |
| 勤務先登録の申請 <small>MF</small> | 3600(4/10) |
| 限定付適正意見、2022年監査報告書で上場7社に | 3592(2/13) |
| 公認会計士の勤務先登録 <small>MF</small> | 3594(2/27) |
| 公認会計士法の改正に関連する上場会社等監査人登録制度の導入／品質管理レビュー制度の改正 <small>読切解説</small> | |
| 日本公認会計士協会 副会長（自主規制） 小倉 加奈子／ 自主規制本部品質管理グループ事務局 住井 嵩 | 3600(4/10) |
| 財務諸表等の監査証明に関する内閣府令の一部改正の概要 <small>読切解説</small> | |
| 金融庁 企画市場局 企業開示課 課長補佐 鳥屋尾 大介 | 3602(4/24) |
| 財務報告に係る内部統制の評価と監査についての基準等の改訂について <small>読切解説</small> | |
| 金融庁 企画市場局 企業開示課 課長補佐 小作 恵右／ 課長補佐 松井 都志子／専門官 加藤 淳平／瀬尾 優典 | 3605(5/22) |
| サステナビリティ教育シラバスを開発へ（JICPA） | 3604(5/15) |
| 中小監査事務所の監査品質向上への対応－監査品質のマネジメントに関する年次報告書の作成と中小監査事務所の基盤強化への対応－ <small>読切解説</small> | |
| 日本公認会計士協会 副会長（業務基盤強化、社会貢献） 南 成人／ 業務本部中小監査事務所グループ事務局 小池 教之／奥山 美保 | 3600(4/10) |
| 登録審査に時間、監査人変える事例も | 3609(6/19) |
| 内部監査部門との連携などを議論（監査役協会） | 3601(4/17) |
| 平均監査報酬が7年連続で増加（JICPA） | 3594(2/27) |
| 法改正・CPEの見直しに伴い会則等を変更（JICPA） | 3591(2/6) |
| 報酬関連事項の開示 <small>MF</small> | 3589(1/23) |
| 報酬関連事項の記載、2023年4月以後開始の年度から（金融庁） | 3599(4/3) |
| 報酬関連情報の記載例を追加へ（JICPA） | 3603(5/8) |
| 有報総会前提出、会計士試験のあり方等が論点に（自民党） | 3597(3/20) |
| 有報の総会前提出などを議論（自民党） | 3609(6/19) |
| 倫理規則の実務ガイダンス等を公表（JICPA） | 3589(1/23) |

| | |
|--------------------------------|------------|
| SASB基準改訂のためのアプローチを提案 (ISSB) | 3605(5/22) |
| 温室効果ガスに関する経過措置を暫定決定 (ISSB) | 3590(1/30) |
| 開示要件に関するIASBの新アプローチ MF | 3597(3/20) |
| 気候関連リスクに関するプロジェクトに着手 (IASB) | 3599(4/3) |
| 「結合性」のこれから MF | 3599(4/3) |
| 国際的な指標への置換えなどを予定 (ISSB) | 3599(4/3) |
| 作業領域とアジェンダ候補を問う (ISSB) | 3604(5/15) |
| サステナビリティ開示に係る国際カンファレンス開催 (金融庁) | 3596(3/13) |
| サステナ保証基準は前倒しで最終化の見込み (IAASB) | 3602(4/24) |
| 自然資本は次のISSBアジェンダか? 読切解説 | 3590(1/30) |

野村総合研究所 上級研究員 三井 千絵

監査 (国際)

| | |
|-------------------------------------|------------|
| ISA570改訂の影響 MF | 3605(5/22) |
| グループ監査対応で倫理規程を改訂 (IESBA) | 3595(3/6) |
| 国際サステナビリティ保証基準 (ISSA) 5000 MF | 3591(2/6) |
| 国際的なサステナビリティ保証基準は2025年頃最終化か (IAASB) | 3589(1/23) |

その他

| | |
|--|------------|
| 4大法人のIPO監査シェアが初めて50%割れ | 3592(2/13) |
| CG改革とサステナビリティ経営 MF | 3607(6/5) |
| CG改革の「アクション・プログラム」示す (金融庁) | 3604(5/15) |
| IFRS財団とアジア・オセアニアオフィスへの支援拡大 (FASF) | 3595(3/6) |
| SXとSX銘柄の選定 MF | 3594(2/27) |
| TOB・大量保有報告制度を見直しへ (金融庁) | 3596(3/13) |
| アジア太平洋管理会計学会 (APMAA) 2022年度大会記 読切解説 | 3588(1/16) |
| 甲南大学名誉教授 上埜 進 | |
| ガバナンス改革で「市場と経営の好循環を」(自民党) | 3601(4/17) |
| ガバナンスの実質化へ、対話と意識改革促す～「アクション・プログラム」案を議論 (金融庁) | 3602(4/24) |
| 企業年金・ガバナンス改革を検討 (自民党) | 3600(4/10) |
| 経過措置終了とプライム企業の選択肢 MF | 3606(5/29) |
| 国際的なルール作りへの関与を提言 (自民党) | 3607(6/5) |
| サステナビリティ開示の国際カンファレンス開催 (金融庁) | 3594(2/27) |
| 上場維持基準に係る経過措置の終了とデッドライン MF | 3592(2/13) |
| 上場維持基準の経過措置 2025年3月で終了へ (東証) | 3590(1/30) |
| 新規上場日程の柔軟化等を実施 (東証) | 3597(3/20) |
| 新春特別寄稿 IASBの今後の作業の主要な優先事項 読切解説 | 3588(1/16) |
| 国際会計基準審議会 (IASB) 議長 アンドレアス・バーコウ | |

| | |
|---|------------|
| 新春特別寄稿 真のグローバルベースラインの確立に向けた進捗 <small>読切解説</small> | 3588(1/16) |
| 国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) 議長 エマニュエル・ファベール | |
| スチュワードシップ活動における課題 <small>MF</small> | 3609(6/19) |
| 生物多様性の基準と開示 <small>MF</small> | 3591(2/6) |
| ダイレクトリスティング <small>MF</small> | 3588(1/16) |
| 他社発行暗号資産の期末評価も見直しを (自民党) | 3601(4/17) |
| 独立社外取締役に求められる役割を明確化へ (東証) | 3606(5/29) |
| 日本経済会計学会 第40回年次大会を開催 | 3610(6/26) |
| プライム150指数とトヨタ <small>MF</small> | 3610(6/26) |
| 来年11/5から取引時間を30分延伸 (東証) | 3603(5/8) |

適時開示ニュース

| | | | |
|-------------|------------|-----------|------------|
| 12/19~12/25 | 3587(1/9) | 3/20~3/26 | 3599(4/3) |
| 12/26~1/8 | 3588(1/16) | 3/27~4/2 | 3600(4/10) |
| 1/9~1/15 | 3589(1/23) | 4/3~4/9 | 3601(4/17) |
| 1/16~1/22 | 3590(1/30) | 4/10~4/16 | 3602(4/24) |
| 1/23~1/29 | 3591(2/6) | 4/17~4/23 | 3603(5/8) |
| 1/30~2/5 | 3592(2/13) | 4/24~5/7 | 3604(5/15) |
| 2/6~2/12 | 3593(2/20) | 5/8~5/14 | 3605(5/22) |
| 2/13~2/19 | 3594(2/27) | 5/15~5/21 | 3606(5/29) |
| 2/20~2/26 | 3595(3/6) | 5/22~5/28 | 3607(6/5) |
| 2/27~3/5 | 3596(3/13) | 5/29~6/4 | 3608(6/12) |
| 3/6~3/12 | 3597(3/20) | 6/5~6/11 | 3609(6/19) |
| 3/13~3/19 | 3598(3/27) | 6/12~6/18 | 3610(6/26) |

Headline

| | | | |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 3/23~3/29 | 3599(4/3) | 5/11~5/17 | 3605(5/22) |
| 3/30~4/5 | 3600(4/10) | 5/18~5/24 | 3606(5/29) |
| 4/6~4/12 | 3601(4/17) | 5/25~5/31 | 3607(6/5) |
| 4/13~4/19 | 3602(4/24) | 6/1~6/7 | 3608(6/12) |
| 4/20~4/26 | 3603(5/8) | 6/8~6/14 | 3609(6/19) |
| 4/27~5/10 | 3604(5/15) | 6/15~6/21 | 3610(6/26) |

M&Aニュース

| | | | |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 12/17~1/6 | 3588(1/16) | 3/25~3/31 | 3600(4/10) |
| 1/7~1/13 | 3589(1/23) | 4/1~4/7 | 3601(4/17) |
| 1/14~1/20 | 3590(1/30) | 4/8~4/14 | 3602(4/24) |
| 1/21~1/27 | 3591(2/6) | 4/15~4/21 | 3603(5/8) |
| 1/28~2/3 | 3592(2/13) | 4/22~5/5 | 3604(5/15) |
| 2/4~2/10 | 3593(2/20) | 5/6~5/12 | 3605(5/22) |
| 2/11~2/17 | 3594(2/27) | 5/13~5/19 | 3606(5/29) |
| 2/18~2/24 | 3595(3/6) | 5/20~5/26 | 3607(6/5) |
| 2/25~3/3 | 3596(3/13) | 5/27~6/2 | 3608(6/12) |
| 3/4~3/10 | 3597(3/20) | 6/3~6/9 | 3609(6/19) |
| 3/11~3/17 | 3598(3/27) | 6/10~6/16 | 3610(6/26) |
| 3/18~3/24 | 3599(4/3) | | |

インタビュー・対談

タイトル

掲載号

インタビュー

| | |
|---|------------|
| Special Interview 中村直人弁護士に聞く 令和5年株主総会の留意点 弁護士 中村 直人 | 3605(5/22) |
| 新しい資本主義と人的資本の開示~人への投資とマインドシフトで企業価値向上を シブサワ・アンド・カンパニー 代表取締役社長 渋澤 健 | 3595(3/6) |
| 「監査法人のガバナンス・コード」改訂の方向性 青山学院大学名誉教授・大原大学院大学教授 (監査法人のガバナンス・コードに関する有識者検討会 座長) 八田 進二 | 3591(2/6) |
| サステナビリティ時代の会計教育と課題 一般財団法人 会計教育研修機構 理事長 手塚 正彦 | 3593(2/20) |
| 新春インタビュー 国税庁・阪田長官に聞く | 3588(1/16) |
| 素直な心で項目選定を~3年目のKAMに期待すること~ 公認会計士 住田 清芽 | 3596(3/13) |
| 内部統制報告制度の見直しと真のねらい 企業会計審議会内部統制部会長 堀江 正之 | 3603(5/8) |

対談

| | |
|---|-----------|
| 緊急対談 EU指令によるCbCRの強制開示とそのインパクト~日本企業 900 社の 国別損益が全世界に公開へ EY税理士法人会長 角田 伸広/法政大学教授 中野 貴之 | 3607(6/5) |
|---|-----------|

| | | |
|--------------------------------------|--|------------|
| 連載対談 キーパーソンに訊く重要テーマ 第1回「内部統制報告制度の改訂」 | 金融庁 企画市場局 審議官 井上 俊剛／ 青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科 教授 町田 祥弘 | 3606(5/29) |
| 連載対談 キーパーソンに訊く重要テーマ 第2回「市場区分の見直し」 | 東京証券取引所 取締役 常務執行役員 青 克美／ 青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科 教授 町田 祥弘 | 3608(6/12) |

連載解説

| タイトル | 執筆者 | 掲載号 |
|---|------------------------|------------|
| 会計基準／実務対応 | | |
| 2023年3月期日本基準決算Q&A (前編) グループ通算制度、時価算定適用指針 | 有限責任監査法人トーマツ 田中 圭 | 3596(3/13) |
| (後編) 開示府令の改正、サステナビリティ開 示等 | 戒能 唯 | 3597(3/20) |
| 会計知識録 ～企業の会計・財務活動を解説～ | | |
| 第26回 いま注目される「運転資本」の意味 と役割 | | 3588(1/16) |
| 第27回 「開示すべき重要な不備」事例から見 る海外子会社の内部統制上の課題 | 公認会計士 溝口 聖規 | 3599(4/3) |
| 第28回 海外子会社の内部統制の整備・運用 と内部監査のポイント | | 3601(4/17) |
| 第29回 PBR 1倍割れは何が問題なのか？ | | 3610(6/26) |
| 事例でわかる 実務で使える 税効果会計 | | |
| 第10回 (最終回) 税効果会計の決算業務フ ロワー | 公認会計士 内田 正剛 | 3589(1/23) |
| 新・経理実務最前線！ Q&A 監査の現場から | | |
| 第7回 税効果会計の間違いやすいポイント 3選 | EY新日本有限責任監査法人 児島 悠太 | 3589(1/23) |
| 第8回 市場価格のない株式等に関する基準 の改正と減損処理における実務上の 留意点 | 山本 相尚 | 3593(2/20) |
| 第9回 譲渡制限付株式の開示 | 兵藤 伸考 | 3597(3/20) |
| 第10回 複数の会計上の論点において「事業 計画」を使用する場合の留意事項 | 秋川 僚平 | 3601(4/17) |
| 第11回 投資事業有限責任組合への出資の会 計処理における実務上の留意点 | 松原 匠作 | 3605(5/22) |
| 第12回 金利上昇局面における会計処理に係 る実務上の留意点 | 佐藤 範和 | 3609(6/19) |

令和5年3月期決算 Q&Aで分かる！会計&税務のポイントと対応策

| | | |
|------------------------------------|---|------------|
| (上) | EY新日本有限責任監査法人 公認会計士・税理士 太田 達也 | 3591(2/6) |
| (中) | | 3592(2/13) |
| (下) | | 3593(2/20) |
| 企業会計基準公開草案第73号「リースに関する会計基準(案)」等の概要 | 企業会計基準委員会 アシスタント・ディレクター 村瀬 進吾 /専門研究員 傳田 陽一 | 3608(6/12) |
| (前編) | | 3609(6/19) |
| (後編) | | |
| 「リースに関する会計基準(案)」の詳細解説 | | |
| (上) | 公認会計士・税理士 太田 達也 | 3609(6/19) |
| (中) | | 3610(6/26) |

国際会計基準 (IAS/IFRS) 関係

| | | |
|--|-------------------------|------------|
| 2023年3月期IFRS決算Q&A | 有限責任監査法人トーマツ | |
| 第1回 2023年3月期に適用となるIFRS基準 | 石原 宏司/穴戸 純子 | 3597(3/20) |
| 第2回 IFRS解釈指針委員会が公表するアジェンダ決定 | 石原 宏司/西田 享広/穴戸 純子 | 3598(3/27) |
| 第3回(最終回) 国際的な税制改革、超インフレ会計 | 石原 宏司/西田 享広/穴戸 純子 | 3599(4/3) |
| IFRSをめぐる動向 | | |
| 第149回 IFRS第9号「金融商品」の分類及び測定に関する適用後レビュー | PwCあらた有限責任監査法人 宮治 哲司 | 3590(1/30) |
| 第150回 「のれんと減損」プロジェクトの最近の動向(2022年10月~2022年12月IASB会議での再審議) | 松田 由貴 | 3594(2/27) |
| 第151回 公開草案「国際的な税制改革—第2の柱モデルルール」 | 井上 雅子/高橋 慎太郎 | 3602(4/24) |
| 第152回 金融商品の分類及び測定の修正に関する公開草案 | 宮治 哲司 | 3606(5/29) |
| 気になる論点 | | |
| (328) FASBの概念フレームワーク案(1) —認識— | | 3587(1/9) |
| (329) FASBの概念フレームワーク案(2) —認識の中止— | 早稲田大学大学院教授 秋葉 賢一 | 3589(1/23) |
| (330) IFRS第9号「金融商品」の適用後レビュー—分類及び測定に関する報告書— | | 3591(2/6) |
| (331) 国際的な税制改革と税効果—IAS第12号「法人所得税」の改正案— | | 3593(2/20) |

| | | |
|---|---------------------|------------|
| (332) わが国におけるサステナビリティ情報の開示 (1) —有価証券報告書による開示— | | 3595(3/6) |
| (333) わが国におけるサステナビリティ情報の開示 (2) —SSBJによるサステナビリティ開示基準の開発— | | 3597(3/20) |
| (334) IASBによる開示作成ガイダンス —IFRSにおける開示要求の開発及び文案作成— | | 3599(4/3) |
| (335) FASBによる暗号資産の会計処理案 —公正価値の測定差額を当期純利益へ— | 早稲田大学大学院教授 秋葉 賢一 | 3601(4/17) |
| (336) テリバティブに対する保証 —IFRSの適用における議論— | | 3603(5/8) |
| (337) リース会計基準案 (1) —借手の使用権資産及びリース負債の計上— | | 3605(5/22) |
| (338) リース会計基準案 (2) —リースの識別— | | 3607(6/5) |
| (339) リース会計基準案 (3) —契約条件の変更と会計上の見積りの変更— | | 3609(6/19) |

開示

| | | |
|--|---|------------|
| アップデート！非財務情報開示の今 | 有限責任 あずさ監査法人 | |
| 第11回 非財務情報の開示を巡る国内外の動向 (2022年10月～12月の動向) | 開示高度化推進部 米谷 将大 | 3590(1/30) |
| 第12回 非財務情報の開示を巡る国内外の動向 (2023年1月～3月の動向) | 椎橋 利守 | 3603(5/8) |
| <2023年3月期決算>KAMの特徴的な事例と記載のポイント | 金融庁 企画市場局 企業開示課 課長補佐 鹿子木 慎亮／ 企業会計専門官 清野 恭平／ | 3603(5/8) |
| (前編) | 係長 澤村 泰行 | 3604(5/15) |
| (後編) | | |
| <2023年3月期決算>記述情報の好開示のポイント | 金融庁 企画市場局 企業開示課 課長補佐 鹿子木 慎亮／ 企業会計専門官 清野 恭平／ | 3602(4/24) |
| (前編) | 係長 澤村 泰行 | 3603(5/8) |
| (後編) | | |
| 経理財務部門のための非財務情報開示の基礎知識 | | |
| 第1回 非財務情報はプレ財務情報 | | 3594(2/27) |
| 第2回 自然資本に関する非財務情報とは | PwC あらた有限責任監査法人 田原 英俊 | 3596(3/13) |
| 第3回 人的資本に関する非財務情報とは | | 3598(3/27) |
| 第4回 (最終回) 非財務情報開示の今後 | | 3600(4/10) |

監査

会計不祥事の後始末～PFIの実務～

(前編)

公認会計士 河江 健史／

3595(3/6)

(後編)

公認会計士 土井 貴達／

公認会計士 石田 有司

3596(3/13)

その他

ドラマ経理DX～キックオフ編～

第5話 誰がためにデータはある？ (1)

有限責任 あずさ監査法人

3588(1/16)

第6話 誰がためにデータはある？ (2)

Digital Innovation部

3590(1/30)

第7話 (最終話) 賽は投げられた

(執筆) 八幡 菜々子／

3592(2/13)

2ndシーズン「タスクフォース編」予告

(監修) 島田 武光

3605(5/22)

ドラマ経理DX～タスクフォース編～

第1話 波乱の足音!?キックオフ前夜

有限責任 あずさ監査法人

3606(5/29)

第2話 バトル勃発!?波乱のキックオフ

Digital Innovation部

3608(6/12)

第3話 異論!反論?効率化は待ったなし

(執筆) 八幡 菜々子／

3610(6/26)

(監修) 島田 武光

経理部 進化論～FP&Aという選択肢

第3回 FP&Aの武器としての「財務諸表」
について考える

3589(1/23)

第4回 【ケーススタディ】マイクロソフトの
変革に欠かせなかったファイナンス
部門のリーダーシップ

3591(2/6)

第5回 「予算」とは戦略を定量的に翻訳した
ものである

グロービス経営大学院

3593(2/20)

鷲巣 大輔

第6回 本当に意味のある分析とは何か？

3596(3/13)

第7回 KPI設計とダッシュボード構築でのイ
ニシアティブで組織にプラス効果を
もたらす

3598(3/27)

第8回 投資判断にリスクと不確実性をいか
に反映させるか？

3604(5/15)

会社法

役員の報酬・賞与・慰労金の基本と実務Q&A

第211回 株主の認定

3592(2/13)

第212回 ある取締役と経営陣、大株主又は
従業員等との確執と当該取締役解
任の正当理由 (1)

弁護士 小林 公明

3607(6/5)

第213回 ある取締役と経営陣、大株主又は
従業員等との確執と当該取締役解
任の正当理由 (2)

3608(6/12)

コラム

タイトル

執筆者

掲載号

IFRS COLUMN<暖簾に腕押し>

| | | | |
|------|------------------|------------------|------------|
| 第75回 | 保険とIFRS会計基準 (1) | | 3588(1/16) |
| 第76回 | 保険とIFRS会計基準 (2) | | 3590(1/30) |
| 第77回 | 保険とIFRS会計基準 (3) | | 3592(2/13) |
| 第78回 | 保険とIFRS会計基準 (4) | | 3594(2/27) |
| 第79回 | 保険とIFRS会計基準 (5) | | 3596(3/13) |
| 第80回 | 保険とIFRS会計基準 (6) | 国際会計基準審議会 (IASB) | 3598(3/27) |
| 第81回 | 保険とIFRS会計基準 (7) | 前理事 鷺地 隆継 | 3600(4/10) |
| 第82回 | 保険とIFRS会計基準 (8) | | 3602(4/24) |
| 第83回 | 保険とIFRS会計基準 (9) | | 3604(5/15) |
| 第84回 | 保険とIFRS会計基準 (10) | | 3606(5/29) |
| 第85回 | 概念フレームワーク (1) | | 3608(6/12) |
| 第86回 | 概念フレームワーク (2) | | 3610(6/26) |

海外会計トピックス

| | | |
|---|-------------|------------|
| 2022年の総括と2023年の展望 | | 3587(1/9) |
| SECがPCAOBの予算を承認、AI利用でオンライン試験に不正はびこる、その他 | | 3588(1/16) |
| 財務部門のスキルをアップする4項目、生計費上昇でサイバー攻撃増加、その他 | | 3589(1/23) |
| PCAOBが恣意的検査として訴えられる、スマホがPCに取って代わる、その他 | | 3590(1/30) |
| 不正を防止する企業統治の構築、ワイヤーカード事件の余波、その他 | | 3591(2/6) |
| 公開企業の年次報告書の量が多すぎる、英国で暗号資産の規制を計画、その他 | | 3592(2/13) |
| 40億ドルの会計スキャンダル調査中、英国銀行がデジタル通貨導入検討、その他 | 公認会計士 飯田 信夫 | 3593(2/20) |
| 現金及びカード取引は終わったか、人材確保には給与アップ、その他 | | 3594(2/27) |
| AICPA：デジタル資産のFAQ、国際サステナビリティ基準の公表予定、その他 | | 3595(3/6) |
| 良きCFOについてChatGPTに質問、スキルギャップを埋めるには、その他 | | 3596(3/13) |
| SECが暗号資産不正企業を告訴、IASB：M&Aでののれんは減損処理を維持、その他 | | 3597(3/20) |
| シリコンバレー銀行破綻とCFO・監査人、2023年の財務・会計3つの傾向、その他 | | 3598(3/27) |

| | |
|--|------------|
| FASB：暗号資産処理改訂で草案、PwC：クレ ディスイス決算でリスク警告、その他 | 3599(4/3) |
| 著名アナリストの分析か会社情報か、英国政府 が内部通報規則の見直し、その他 | 3600(4/10) |
| コロナ終息で元の職場に復帰、EYがドイツで監 査業務制限、その他 | 3601(4/17) |
| 会計をどのように再定義すべきか、内部通報の 対応が難しい理由、その他 | 3602(4/24) |
| ChatGPTより人間の方が試験成績良好、EYが 米国で大量解雇、その他 | 3603(5/8) |
| SEC内部通報報奨金最高額、米国での会計職報 酬トップ10、その他 | 3604(5/15) |
| 会計業務の半分は未だに手作業、財務部長の報 酬5.3%上昇、その他 | 3605(5/22) |
| 会計士がChatGPT活用で受ける恩恵、暗号資産 はギャンプルと英国議員が指摘、その他 | 3606(5/29) |
| 資金流動性リスク軽減法、AI等に関する記事、 その他 | 3607(6/5) |
| 米国での銀行破綻：Big4に財務危機での役割期 待、AIバブルを恐れるな、その他 | 3608(6/12) |
| 企業の77%がレイオフ検討、監査要員不足を補 うため外国人採用、その他 | 3609(6/19) |
| 公正価値開示の透明性等を高めるべき、英国： 会計専門職と出自の関係、その他 | 3610(6/26) |

公認会計士 飯田 信夫

ハーフタイム

| | |
|----------------------|------------|
| 生物の構造からみたガバナンス進化への道 | 3591(2/6) |
| M&Aにおけるシナジーとプレミアムの関係 | 3592(2/13) |
| インフレーションへの対処法 | 3598(3/27) |
| 金融不安定性の原因と対策 | 3602(4/24) |
| 仮想通貨の現実と将来 | 3603(5/8) |
| AT1債は“株主持分以下の資本”か | 3608(6/12) |

小説・会計士日記

| | |
|-----------|------------|
| episode 1 | 3587(1/9) |
| episode 2 | 3589(1/23) |
| episode 3 | 3591(2/6) |
| episode 4 | 3593(2/20) |
| episode 5 | 3595(3/6) |
| episode 6 | 3597(3/20) |

中岡 早雄

| | | |
|------------|-------|------------|
| episode 7 | | 3599(4/3) |
| episode 8 | | 3601(4/17) |
| episode 9 | | 3603(5/8) |
| episode 10 | 中岡 早雄 | 3605(5/22) |
| episode 11 | | 3607(6/5) |
| episode 12 | | 3609(6/19) |

その他

| タイトル | 執筆者 | 掲載号 |
|------|-----|-----|
|------|-----|-----|

年頭所感

| | | |
|---------------------------------|--|------------|
| 税務研究会 代表取締役社長 山根 毅 | | 3587(1/9) |
| 公益財団法人 財務会計基準機構 理事長 林田 英治 | | 3587(1/9) |
| 日本公認会計士協会 会長 茂木 哲也 | | 3587(1/9) |
| 公益社団法人 日本監査役協会 会長 松野 正人 | | 3587(1/9) |
| 公益財団法人 全国法人会総連合 会長 小林 栄三 | | 3588(1/16) |
| 日本税理士会連合会 会長 神津 信一 | | 3588(1/16) |
| 一般社団法人 日本経済団体連合会 専務理事 井上 隆 | | 3590(1/30) |
| 日本取引所グループ 取締役兼代表執行役グループCEO 清田 瞭 | | 3590(1/30) |

書評

| | | |
|-------------------------|----------------|------------|
| 谷口 義幸 著『要説 金融商品取引法開示制度』 | 大和総研常務理事 池田 唯一 | 3604(5/15) |
|-------------------------|----------------|------------|

その他

| | | |
|-------------------------|--|------------|
| 「第14回プロネクサス懸賞論文」の受賞作品決定 | | 3593(2/20) |
|-------------------------|--|------------|

お詫びと訂正

| | | |
|-----------------|--|------------|
| No.3591 (2月6日号) | | 3592(2/13) |
|-----------------|--|------------|

WEB限定

| | | |
|---------------------------------------|-------------|------------|
| 図解で整理！税効果会計の基礎と考え方 | | |
| 第9回 税効果会計の注記 | | 3587(1/9) |
| 第10回 退職給付会計の数理計算上の差異等に 係る税効果会計 | 公認会計士 内田 正剛 | 3590(1/30) |
| 第11回 (最終回) 税効果会計のルール の全体像とその他のトピック | | 3592(2/13) |